

令和２年度 学校職員による学校評価アンケート結果 (３３名／３３名 回答率１００％)

A：とてもできている→４点 B：ほぼできている→３点 C：あまりできていない→２点 D→できていない→１点

	No	項目	A 4点	B 3点	C 2点	D 1点	R2 平均	R1 平均	H30 平均
経営の重点に関する評価	1	職員全体が学校教育目標を理解し、その具現化を目指して、日常的教育活動を推進している。	4	25	4	0	3.0	3.0	3.0
	2	各学部、校務分掌および事務部がお互いの協働体制を整え、円滑な教育活動を展開している。	5	27	1	0	3.1	3.1	3.2
	3	一人ひとりの職員が学校運営に参画する意識をもち、業務に取り組んでいる。	6	21	6	0	3.0	3.0	3.0
	4	生活年齢を意識した指導など、児童生徒の人権を尊重した教育活動に取り組んでいる。(中学生・高校生らしい授業、呼称、体罰を許さない体制づくり、児童生徒の見本となる言動等)	6	20	6	1	2.9	3.0	3.0
	5	職員会議など諸会議の効果的、効率的な運営が行われている。	7	19	7	0	3.0	2.8	3.0
	6	保護者に対して、教育内容や方法、評価、行事、児童生徒会計などについて、適切に説明している。	12	21	0	0	3.4	3.2	3.4
	7	学園や関係機関と連携、協働し、児童生徒の教育的ニーズや課題の解決を図っている。	10	23	0	0	3.3	2.9	2.9
	8	教育活動の中で、地域の人材や施設などの教育資源を積極的に活用している。	4	14	14	1	2.6	2.8	3.2
	9	交流及び共同学習、校外学習などを通し、地域の障がい者理解の促進に積極的に取り組んでいる。	5	20	6	2	2.8	3.2	3.5
	10	地域の教育関係機関などへの情報発信と連携を図り、センターの機能を果たしている。	12	18	3	0	3.3	3.3	3.4
	11	学校公開やホームページ、学校だよりなどを活用し、地域に対して本校の教育活動の理解・啓発を積極的に行っている。	11	22	0	0	3.3	3.1	3.3
	12	保護者と職員の協力体制の下、PTA活動の活性化が図られている。	2	18	13	0	2.7	2.6	2.7
	13	防災や防犯について対応マニュアルの整備や訓練、研修などにより、危機事態の発生に備えている。	19	14	0	0	3.6	3.5	3.6
	14	学校事故の未然防止を日常的に意識し、組織的に取り組んでいる。	12	20	1	0	3.3	3.1	3.5
	15	事故等の発生の際には、マニュアル通り速やかに報告や連絡など組織的な対応をすることができている。	13	20	0	0	3.4	3.1	3.3
	16	日常的に教室等の清掃など、環境衛生の維持に努めている。	16	17	0	0	3.5	3.3	3.2
	17	校舎内の施設設備や物品を適切に管理している。	7	24	2	0	3.2	3.0	3.0
	18	備品や教材、学校図書や視聴覚機器、情報機器などが、教育活動に十分に活用されている。	7	23	3	0	3.1	3.0	3.0
	19	経費削減を意識し、効率的で効果的な予算計画や執行を行っている。	5	27	1	0	3.1	3.1	3.2
	20	研究主題、研修計画に沿って、効果的な校内研究活動を進めている。	3	22	8	0	2.8	2.9	3.0
	21	学校課題を踏まえた計画的・組織的な校内研修の推進が行われている。	4	20	9	0	2.8	3.0	3.0
	22	校外への研修会等へ積極的に参加するなど、自己研修に努め、専門性の向上を図っている。	5	17	10	1	2.8	2.7	3.2
職場環境	23	ハラスメントなどがなく、お互いの意見を尊重し合うことのできる職場環境づくりが行われている。	6	23	4	0	3.1	2.6	2.8
	24	時間外勤務及び業務の縮減に関しての理解、取り組みが進んでいる。	8	20	5	0	3.1	2.5	2.6
教育課程	25	育成すべき資質・能力(生きて働く知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性の涵養)を意識して教育計画を作成し、教育活動を行っている。	7	23	3	0	3.1	3.0	3.1
	26	児童生徒や学校の実態の把握、教科横断的な視点での教育内容、教育課程の実施状況の評価・改善、教育課程の実施に必要な人的・物的な体制整備など、カリキュラムマネジメントに努めている。	6	26	1	0	3.2	2.9	3.1
	27	学校で育まれる資質・能力が社会とどのようにつながっているかを意識して教育計画を作成し、教育活動を行っている。	6	23	5	0	3.1	2.9	3.1

指導の重点に関する評価	程全般	28	一人ひとりの教育的ニーズに基づいて個別的教育支援計画、個別の指導計画を作成し、教育活動を行っている。	15	17	1	0	3.4	3.2	3.3
		29	主体的で対話的な深い学びの実現に向け、授業のねらいや活動内容、指導の手立てなどの授業改善に努めている。	8	23	2	0	3.2	3.1	3.2
		30	児童生徒の僅かな行動の変化などを的確に評価し、次の指導の改善に生かすように努めている。	8	24	1	0	3.2	3.1	3.1
	道徳	31	一人ひとりの良さを生かし、豊かな関わりの中で道徳心や公共心、自己肯定感の向上に努めている。	8	22	3	0	3.2	3.1	3.3
		32	学校行事は、児童生徒や本校の実態を考慮して、望ましい体験的な活動が展開できるよう工夫している。	10	21	2	0	3.2	3.4	3.4
	特別活動	33	学級活動やＨＲ、児童生徒会活動などを通して、望ましい人間関係の形成を目指し、集団の一員として自主的に行動する態度の育成に努めている。	9	19	5	0	3.1	3.1	3.2
		34	児童生徒一人ひとりの障害の状態などを適確に把握して自立活動の目標を設定し、指導内容や教材教具の工夫に努めている。	9	20	4	0	3.2	3.2	3.1
	自立活動	35	学園や関係機関と連携し、自立活動の指導の改善・充実に努めている。	6	21	5	1	3.0	3.0	2.9
		36	学校生活全般において児童生徒が基本的な生活習慣を身に付けられるように、具体的な場面に即した指導に努めている。	7	23	3	0	3.1	3.2	3.3
	生徒指導	37	いじめなどの不適切な行動の早期発見、早期対応に努め、組織的できめ細やかな対応を取っている。	8	23	2	0	3.2	3.4	3.4
		38	進路先の決定を支援するために、保護者や関係機関と連携を図り、情報の収集と提供、連絡調整に努めている。	7	24	2	0	3.2	3.2	3.7
	進路指導	39	生活年齢に応じたキャリア教育・進路指導を、計画的、組織的に実施している。	6	23	4	0	3.1	3.1	3.3
指導の重点に関する評価	健康・安全指導	40	関係機関との連携のもと、教育活動全体を通して健康安全教育の推進に努めている。	9	21	3	0	3.2	3.4	3.3
		41	生活年齢や発達段階に応じた性教育を計画的に行っている。	8	21	4	0	3.1	2.9	3.2
		42	関係機関と連携を図りながら、感染症などの予防とその指導に努めている。	21	12	0	0	3.6	3.4	3.5

→平均点3.0未満